このレッスンでは、ループを使用して、すべてのドロップダウンメニュー項目を一度に作成するためのサンプルソリューションを紹介します。 FORループについて既に知っていることを使用したか、最後のレッスンを見て、Dart FORループについてすべてを学習しました。

しかし、いずれにせよ、通貨のリストを取得して、値のプロパティを持つテキストウィジェットを備えたドロップダウンメニュー項目に変換するというこの課題を解決します。

通貨リスト内のこれらの各アイテムの値を、ここでこれらのウィジェットの1つに挿入します。

新しいメソッドを作成し、getDropDownItemsと呼びます。入力はありませんが、いくつかの機能を実行します。

念のため、特定の実装は、私が提供しているサンプルソリューションとは異なる可能性がありますが、それでかまいません。

あなたのコードと私のコードは1対1で一致する必要はありません。

コードが機能すれば機能し、それが重要です。

まず、CスタイルのFORループを使用した実装を示します。FORループを作成し、iという整数を作成し、それをゼロに設定してから、iが通貨リストの長さより短いと言います。ここにあるアイテムの数だけ、ループすることができます。

もちろん、通貨のリストにアクセスするには、コインデータをインポートする必要があります。

したがって、coin\_data.dartをインポートします。

そして、iがcurrencyList.length未満であることがわかるので、そのリストにいくつの値があるのか​​、そのたびにiを1ずつ増やして、その通貨のリスト内のすべてのアイテムをループします。

これでiを印刷して、このループが何回実行されるかを確認できます。

buildメソッドでこの関数を呼び出して、アプリをホットリロードするたびに実行されるようにします。

そこで、ドロップダウンアイテムを取得するように呼び出して、[保存]をクリックします。

そのコードを実行すると、0から20まで実行されていることがわかります。

したがって、私の通貨のリストには基本的に21の項目があります。

これで、単にiを印刷する代わりに、currencyListを印刷できるので、リストを作成してから、

インデックスとしてi。

そのため、もう一度保存ボタンを押すと、通貨リスト内の各通貨が印刷されます。

そして、最後まで到達するまでそれらすべてをループします。

そして今、私ができることはこれを使用できることです。したがって、通貨という新しい文字列を作成し、インデックスiで通貨リストと同等にすることができます。新しいドロップダウンメニュー項目を作成すると、子はその通貨を文字列として含むテキストウィジェット。

また、その値プロパティをその通貨文字列にも設定します。

これで、FORループ内で作成したこのドロップダウンメニュー項目を新しい変数内に保存できます。newItemという名前を付けて、それに等しい値を設定します。

そして、ループの外で、ウィジェットのリストを作成できます。このリストはドロップダウン項目と呼ばれ、空のリストから始まります。

新しいアイテムを作成するたびに、ドロップダウンアイテムに追加します。したがって、dropdown items.addと新しいウィジェットは、FORループ内で作成した新しいアイテムになります。

これで、空のドロップダウンリストが作成されたことがわかります。

通貨リストをループし、リストにあるすべての通貨について、新しいドロップダウンメニュー項目を作成します。

そしてその中に、その通貨を挿入するテキストウィジェットを作成し、ここに挿入します。

そして、ウィジェットが作成されたら、ドロップダウンアイテムのリストに追加します。

したがって、通貨のすべてに対してFORループが実行されると、このリストに21個のドロップダウンアイテムが必要になります。それから、このメソッドの出力としてこのリストを返すことができます。

そこで、ドロップダウン項目を返し、戻り値のタイプをvoidからドロップダウンメニュー項目のリストに変更します。また、このドロップダウン項目リストをウィジェットの一般的なリストに変更して、ドロップダウンメニュー項目のリストにする必要があります。さらに具体的には、実際には子として文字列を含むドロップダウンメニュー項目のリストです。

ドロップダウンメニュー項目を取得するこのメソッドを作成したので、ドロップダウンボタンで項目を指定する場所で使用できます。

したがって、ドロップダウンメニュー項目のそれぞれを手で書いたこのハードコードされたリストを使用する代わりに、ドロップダウン項目を取得することができます。保存してアプリを見ると、ドロップダウンリストをクリックすると、コインデータファイルの各通貨のドロップダウンメニュー項目が表示されます。これで、これらのいずれかをクリックして、それらを選択してコンソールに印刷できます。

標準CスタイルのFORループを使用する代わりにforループを使用することもできるため、この機能を作成する少し簡単な方法を選択した人もいるかもしれません。

そして、それがどれほど簡単に見えるかをお見せしましょう。

したがって、int iなどを使用する代わりに、通貨リスト内の通貨ごとに新しい文字列値を作成します。

したがって、ここでこの変数を作成する必要はありません。

forループの条件内で既に作成されています。リスト内の各通貨に等しくなる通貨と呼ばれるものにアクセスできるようになりました。

これを使用してドロップダウンメニュー項目を作成し、それらをドロップダウン項目に追加できます。

これはまったく同じことを行いますが、使用するコード行が少なくなります。

このチャレンジをなんとか完了できましたか？

よくわからない場合は、Dartのさまざまな種類のFORループについて説明した最後のレッスンをご覧ください。